

# 質 問

## 財政の今後の状況について

岩田明人 議員

**町長** 今後の予算規模は160億円前後を考えている



**問** 平成25年度当初予算134億8千万円でスタートし、9月補正予算で151億2千万円となる一般会計予算の内訳は、歳入については当初予算で9.2%減、町税の伸び率0.5%減である。24年度決算では自主財源が37億4千万円、依存財源が12億5千万円であり、依存財源の58%を地方交付税が占めている。合併前と変わらず交付税の削減は奥出雲町にとっても多大の影響がある。今後は160億円規模は厳しくなる。本町には、建設業者が18社くらいあり、経済的影響は大きい。事業者からの提案も必要と思う。繰上償還について、メリ

ツトは、歳出では、物件費が24年度は13億2千万円で23年前より2億6千万円増えている。坂根ダムを含め返済状況は、旧横田町開発農地について、県、町、農家負担は、開発公社の5億4千万円、毎年3千万円返済しているが、本年度何回目か。また残額は、**答** 財政状況について今後の予算規模は160億円前後を考えている。合併したご褒美としての普通交付税6億円を10年間頂いている。ご褒美期間に新しい町づくり、地域づくりをどこまでできるか。今できる事はやっていく姿勢で取り組んでいく。町の予算は、国、県予算と連動している。財政と地域経済、国民生活の問題は密接にリンクしている。今、日本の国家財政もなかなか厳しい状況にあり、対策を打っていると思う。現時点では地方交付税類みの財政運営である。税収を上げる努力はしていく必要がある。

### 受益及び事業費

受益面積	375ha
受益戸数	540戸
工期	昭和51年度～平成7年度
事業費(千円)	30,693,090

### 負担金額 (千円)

国 ①	県 ②	地元(町+農家)③	合計①+②+③
22,492,192	5,853,575	2,347,323	30,693,090

建設業界からの提案も考える。  
繰り上げ償還のメリツトは利息が軽減されること、将来に向けて財政健全化を計ることである。物件費の増加については、リーマンショックの影響で経済対策、緊急雇用、臨時的雇用や過疎債を使ったソフト事業等の影響である。国営農地開発事業負担金の状況は左記の表による。  
※他にTPP及び農業、空き家対策の質問をした。

地元(町+農家) ③	利息 ④	実質負担金 ③+④=⑤	負担軽減額		稲原灌漑用水 ⑧	実質農家負担額 ⑤-⑥+⑦+⑧=⑨	担い手育成資金 ⑩	町特別助成 ⑪	実際の農家負担額 ⑤-⑩+⑪-⑫
			県 ⑥	県 ⑦					
2,347,323	1,182,828	3,530,151	848,421	1,672,721	24,800	984,209	138,959	41,688	803,562

### 繰り上げ償還(県の振興資金借入額) (千円)

平成15年度	平成16年度	合計
512,400	408,900	921,300

国営農地開発事業に伴う地元負担金等について